

民間資源回収場所における回収量等調査

調査対象年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
回収箇所数	41箇所	42箇所	35箇所
回収品目別設置箇所数			
段ボール	38箇所	39箇所	35箇所
古着	33箇所	32箇所	28箇所
アルミ缶	32箇所	29箇所	26箇所
スチール缶	7箇所	4箇所	4箇所
ガラスびん	2箇所	2箇所	1箇所
回収量合計①	3,681 t/年	3,482 t/年	3,478 t/年
稲沢市における資源回収量②	4,838 t	4,502 t	4,011 t
全体に占める割合①÷(①+②)	43.2%	43.6%	46.4%

- ・ 調査対象35箇所のうち、3箇所はデータ非公開であった。
- ・ 新聞紙、雑誌は全箇所、雑がみは2箇所を除き、段ボールは3箇所を除き回収がある。
- ・ ガラスびんは市内では1箇所のみである。
- ・ 回収箇所数は令和元年度から減少している。今後も横ばいまたは減少すると思われる。
- ・ 民間資源回収場所での取扱いが少ない(無い)スチール類、ガラスびん、ペットボトル等については、引続き行政回収による排出機会の確保が必要となる。
- ・ ②は、集団回収、分別収集、地域ステーション及び拠点回収での回収量の合計。